

業歴100年以上の老舗企業 長野県には1343社

老舗出現率は京都が1位、長野県は7位

長野県・「老舗企業」分析調査(2025年)



本件照会先

中澤 敏哉(調査担当)
帝国データバンク
長野支店
026-232-1288

発表日

2026/05/14

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

2025年12月時点で業歴100年を超える長野県の老舗企業は1343社。老舗出現率は4.50%で、都道府県別にみると、京都府がトップで、長野県は7位であった。業種大分類別では、「小売業」が最も多く、次いで「製造業」、「卸売業」の順となった。業種細分類別でみると、老舗企業数で清酒製造業がトップであった。2026年も50社程度が新たに老舗企業に加わりとみられる。

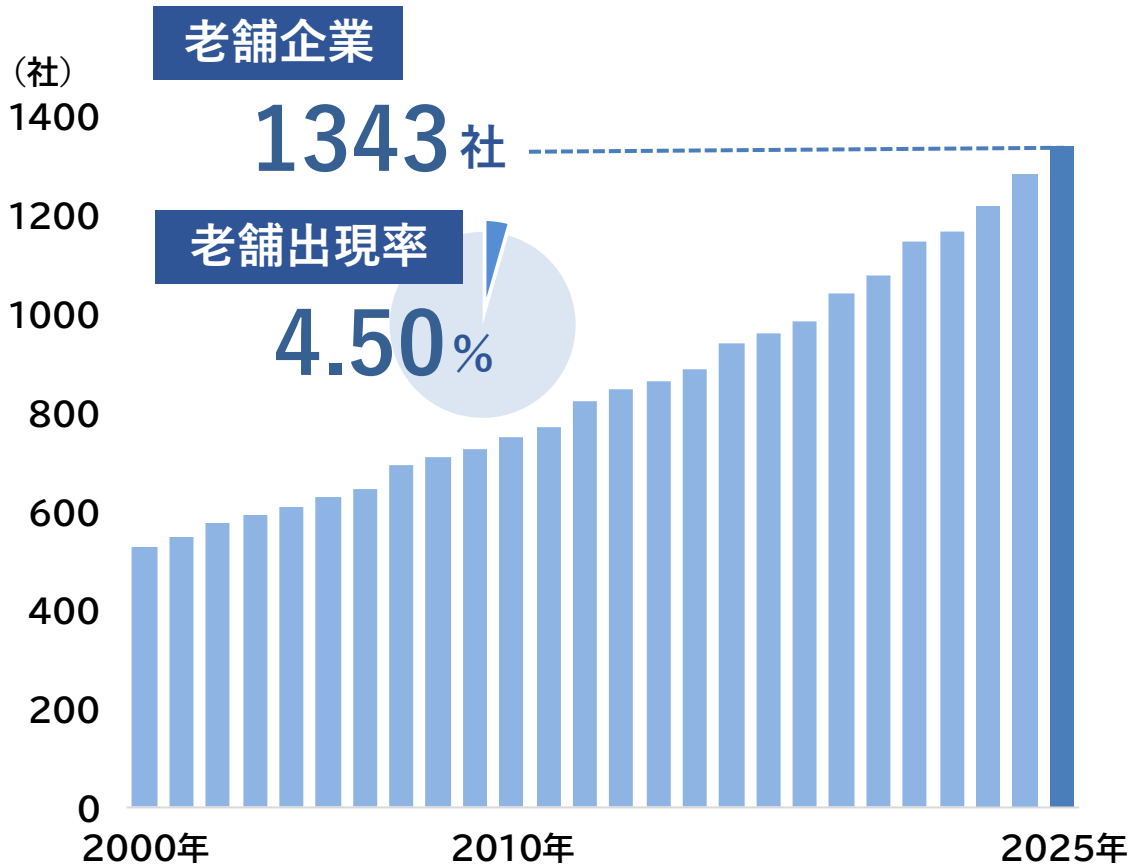
帝国データバンク長野支店は、保有する企業概要ファイル「COSMOS2」(2025年12月時点、全国約150万社・長野県約2万5900社収録)に加え、独自で収集し営業の実体が確認できた企業を基に、創業・設立から100年以上の長野県企業を「老舗企業」と定義し、分析を行った。

創業時が元号・時代のみ判明している場合には、各元号・時代の最終年を創業年として集計した。

長野県に老舗企業は 1343 社、老舗出現率が 4.50%に

2025年12月時点で業歴100年を超える長野県の老舗企業は、1343社を数えた。現在のNHKがラジオ放送を開始し、普通選挙法が公布された1925年(大正14年)に創業した59社が老舗企業に加わった。長野県における老舗企業の割合を指す「老舗出現率」は4.50%と、前年(4.38%)を0.12pt上回った。

老舗企業数 推移

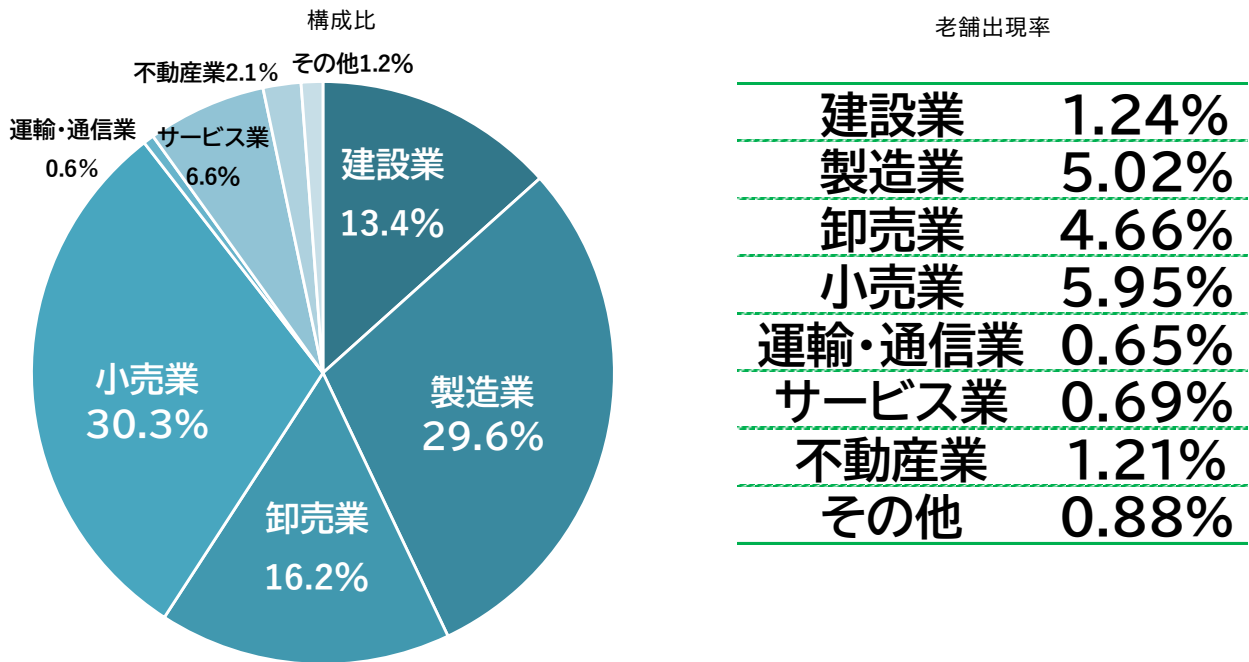


「小売」「製造」「卸売」で老舗企業の7割超、清酒製造業が最多

判明している現在の業種別に見ると、最も多いのは小売業で老舗企業全体の30.3%を占めた。次いで、製造業(29.6%)、卸売業(16.2%)となり、これら3業種で7割以上を占めている。企業全体では建設業やサービス業が多いのに対し、老舗企業は小売・製造・卸売が多いことがわかる。

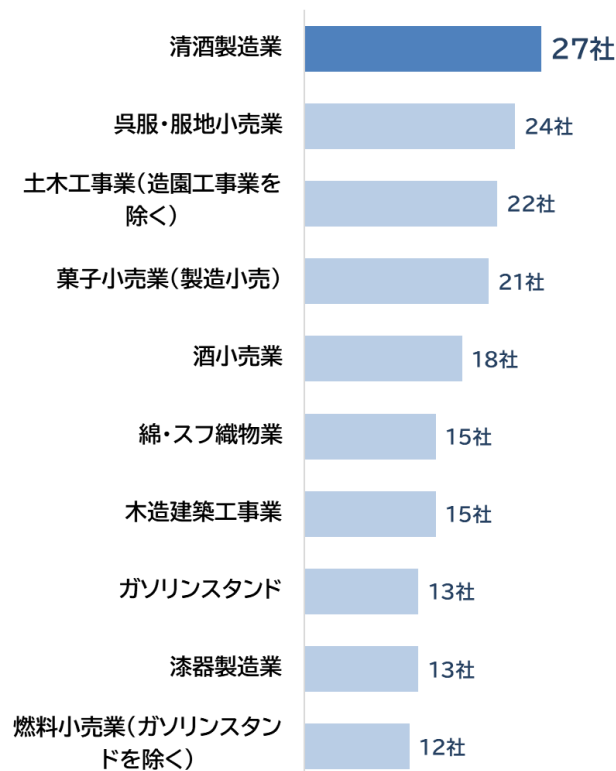
また、業種別の老舗出現率は、小売業が5.95%でトップとなり、製造業(5.02%)、卸売業(4.66%)が続いた。そのほかの業種は2%以下であり、老舗出現率においても小売・製造・卸売が上位となった。

老舗企業 業種大分類別



業種細分類別では、老舗企業数は清酒製造業が 27 社でトップ。江戸時代から続く技術や免許事業による安定性、そして祭事、食文化と結びついた地域密着型経営の強みが表れているものとみられる。次いで、呉服・服地小売業が 24 社、土木工事業が 22 社で続いた。

老舗企業数 業種細分類別上位 10 業種



現在確認できる長野県の企業で創業がもっとも古いのは、温泉旅館の(株)佐久ホテル(佐久市、1413年創業)。次いで、しょう油・味噌製造の(有)松岡屋醸造場(飯田市、1534年創業)が続く。

長野県的主要老舗企業

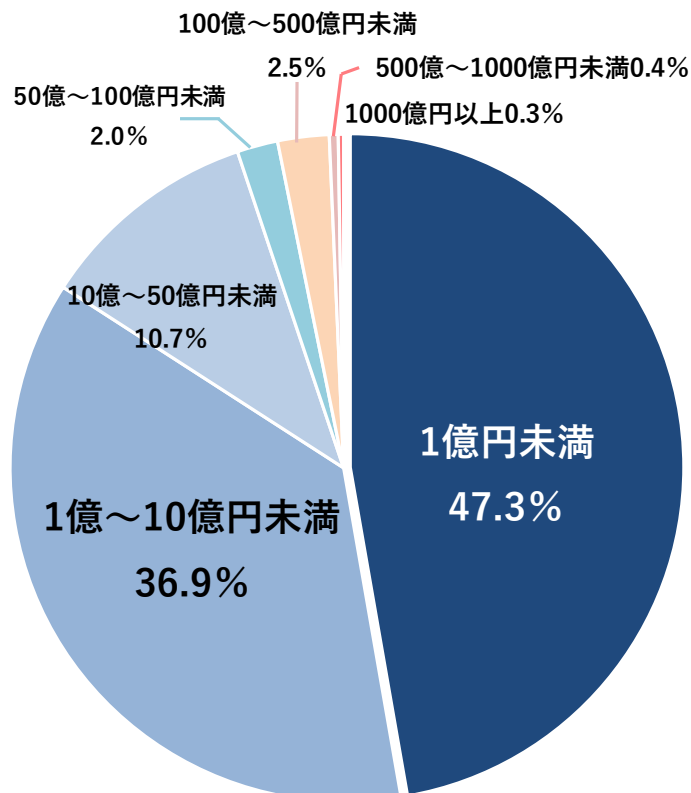
商号	所在地	業種	創業(西暦)	創業(和暦)	設立(和暦)
株式会社佐久ホテル	佐久市	ホテル	1413年	応永20年	昭和60年 5月
有限会社松岡屋醸造場	飯田市	しょう油・味噌製造	1534年	天文 3年	昭和24年 9月
株式会社酒千蔵野	長野市	清酒製造	1540年	天文 9年	平成18年11月
笠原十兵衛薬局	長野市	医薬品小売	1543年	天文12年	個人営業
株式会社ヤマトインテック	塩尻市	鋳物製造	1584年	天正12年	昭和28年 8月

売上高 10 億円未満が 8 割強、 1000 億円企業の 3 割弱が老舗

売上高が判明している老舗企業を売上規模別にみると、「1 億円未満」が 47.3%、「1 億～10 億円未満」が 36.9%と、10 億円未満が 8 割以上を占める。規模は小さくとも着実に長く事業を続けているケースが大半を占めた。

一方で、売上規模の区分が大きくなるほど老舗出現率は高い。売上高「1000 億円以上」は 0.3%だが、長野県にある売上高 1000 億円以上の企業のうち、老舗企業が占める割合は 27.3%となっている。

老舗企業 売上規模別構成比

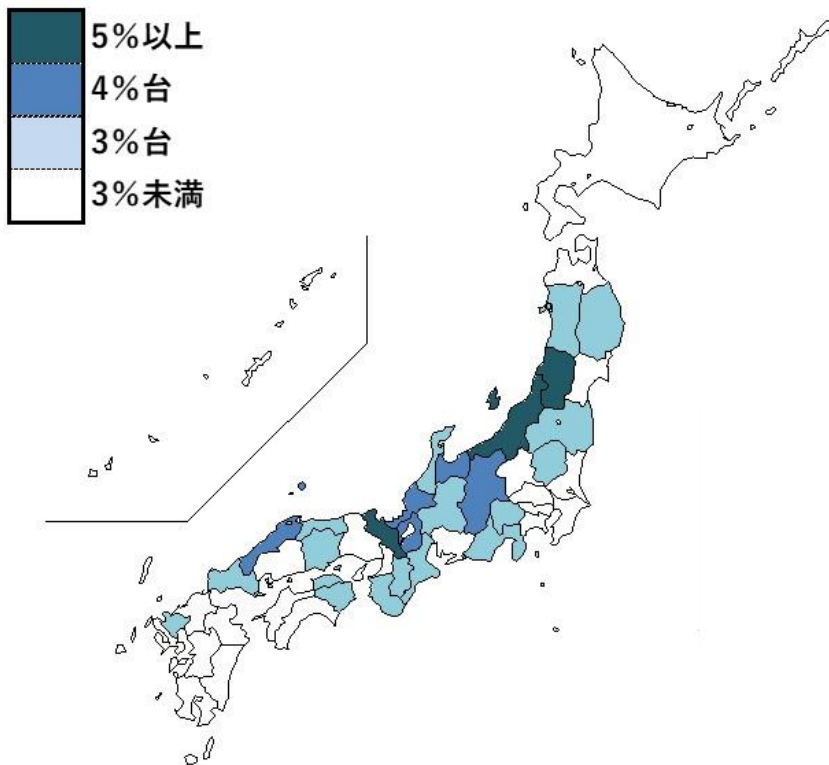


京都府が 5.45% でトップ、長野県は 4.50% で 7 位

全国の老舗出現率を都道府県別にみると、京都府が 5.45% でトップだった。古都として栄え、第二次世界大戦中の被害が比較的小さかったことが老舗企業の存続につながっていると考えられる。「酒どころ」の山形県、新潟県が続き、3 府県が 5% を上回った。そのほか、日本海側の地域を中心に 5 県が 4% を上回り、全体の 3.11% を上回ったのは 23 府県だった。長野県は全体を 1.39pt 上回り、前年同様 7 位であった。

一方で、大都市圏は低水準となり、東京都は 2.32%、大阪府は 2.30%、愛知県は 2.95% だった。そのほか、九州エリアでは軒並み老舗出現率は低く、沖縄県は 0.17% にとどまる。なお、同県内の老舗で最も多い業種は「蒸留酒・混成酒製造」の 11 社で、泡盛の製造を手がけている。

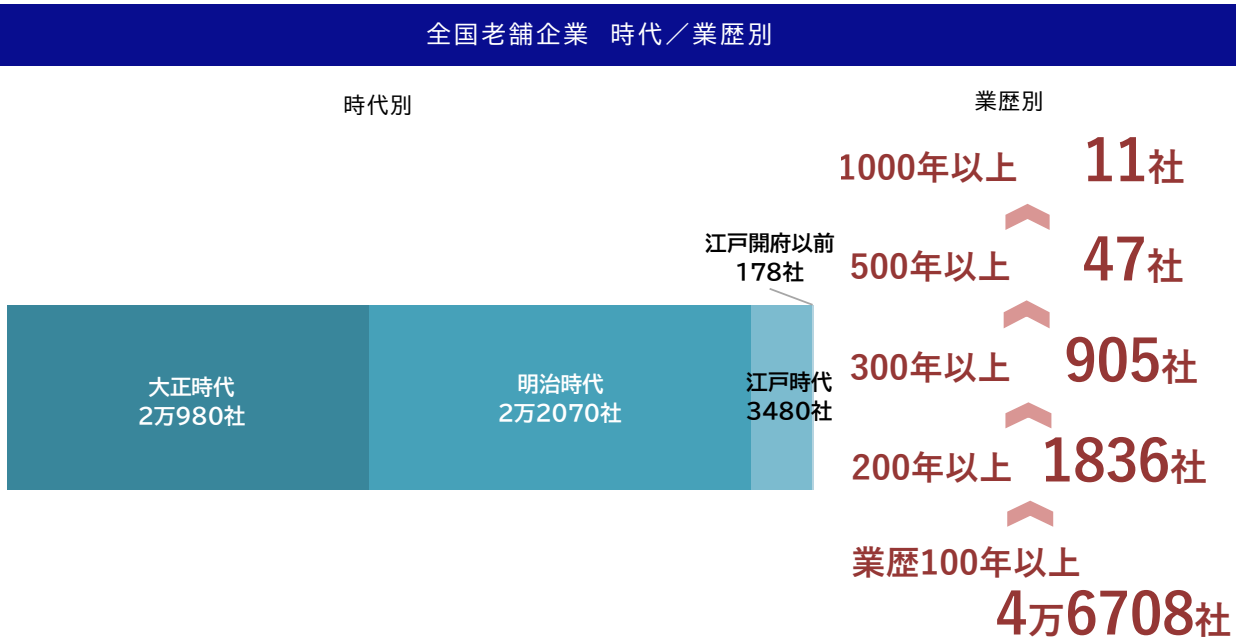
老舗出現率 都道府県別 / 市区郡別上位 10 地域



順位	都道府県	老舗出現率
1	京都府	5.45%
2	山形県	5.44%
3	新潟県	5.07%
4	島根県	4.59%
5	福井県	4.56%
6	滋賀県	4.52%
7	長野県	4.50%
8	富山県	4.01%
9	秋田県	3.81%
10	佐賀県	3.78%

金剛組を筆頭に、全国の「業歴 1000 年企業」は 11 社

全国の老舗企業約 4 万 6708 社のうち、業歴 200 年以上が 1836 社、300 年以上が 905 社、500 年以上が 47 社となり、そのうち、日本最古の企業として有名な(株)金剛組(578 年創業、大阪府)を筆頭に「業歴 1000 年企業」は 11 社を数えた。元号別にみると、江戸幕府が開府した 1603 年以前に創業した企業は 178 社で、江戸時代に創業した企業は 3480 社、明治時代は 2 万 2070 社、大正時代が 2 万 980 社となっている。



まとめ

長野県で業歴 100 年を超える老舗企業は、1343 社を数え、老舗出現率は全国 7 位の 4.50% となった。全国では老舗企業は 4 万 6708 社となり、老舗出現率は初めて 3% を超えた。老舗企業の 9 割が明治・大正時代に創業・設立した企業で、江戸時代以前に創業した企業は約 3600 社に限られる。

2025 年は 142 社(負債 1000 万円以上)の老舗企業が全国で倒産している。価格転嫁が進まない企業やガバナンスの欠如が発覚した企業の倒産があった。老舗企業を含む業歴 30 年以上の全国における倒産件数は過去 10 年で最多の 3263 件となった。長野県でも、(有)精琴堂楽器店(1926 年創業、飯田市)、(株)山岸産業(1924 年創業、長野市)、(有)キタハラカメラ(1926 年創業、下諏訪町)、(株)アイティーシー(1868 年創業、飯田市)、(株)春栄企画(1919 年創業、千曲市)などが倒産した。資金繰りに課題を抱えている老舗企業は決して少なくない。

長く事業を続けるには、時代のニーズを的確に捉え、製品開発や新技術の導入、販売経路の開拓など新たなことに取り組み続けなければならない。日本の老舗企業は、海外の経営者が学びに来日するほど注目されており、災害や戦争など危機的状況を乗り越えてきた老舗企業から学べることは多い。2026 年に創業 100 年を迎える企業は長野県に 50 社程度あるとみられ、今後も老舗出現率は高まる見通しである。